

---

# COVID-19から見えた 職員のN95マスクに対する認識と 今後の課題

---



市立室蘭総合病院 感染防止対策室  
感染管理認定看護師  
荒木 大輔

# 施設概要

- ①病床数：549床（一般401床、結核24床、精神120床、感染症4床）
- ②頭部外傷を含む高エネルギー外傷に対応できる圏域内唯一の医療機関
- ③感染防止対策加算 1
- ④感染防止対策地域連携加算
- ⑤抗菌薬適正使用支援加算
- ⑥呼吸器内科医師は2名



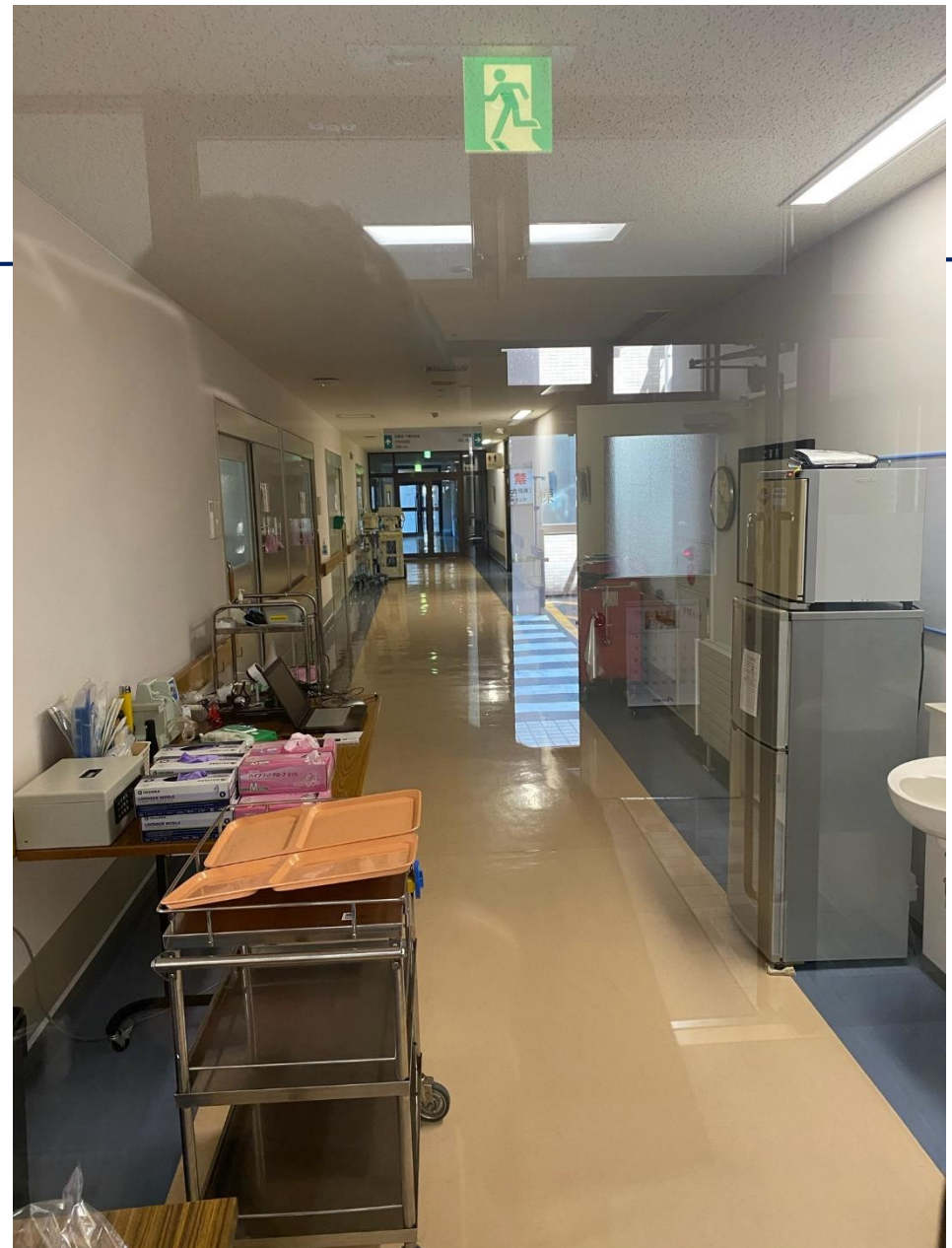
# 感染症病棟

- 本館とは別棟。2009年6月、新型インフルエンザ患者入院1名を受け入れて以来の稼働
- COVID-19流行に伴い4床から12床へ増床し、人工呼吸器、透析にも対応、監視モニターについては来月設置予定



# 感染症病棟

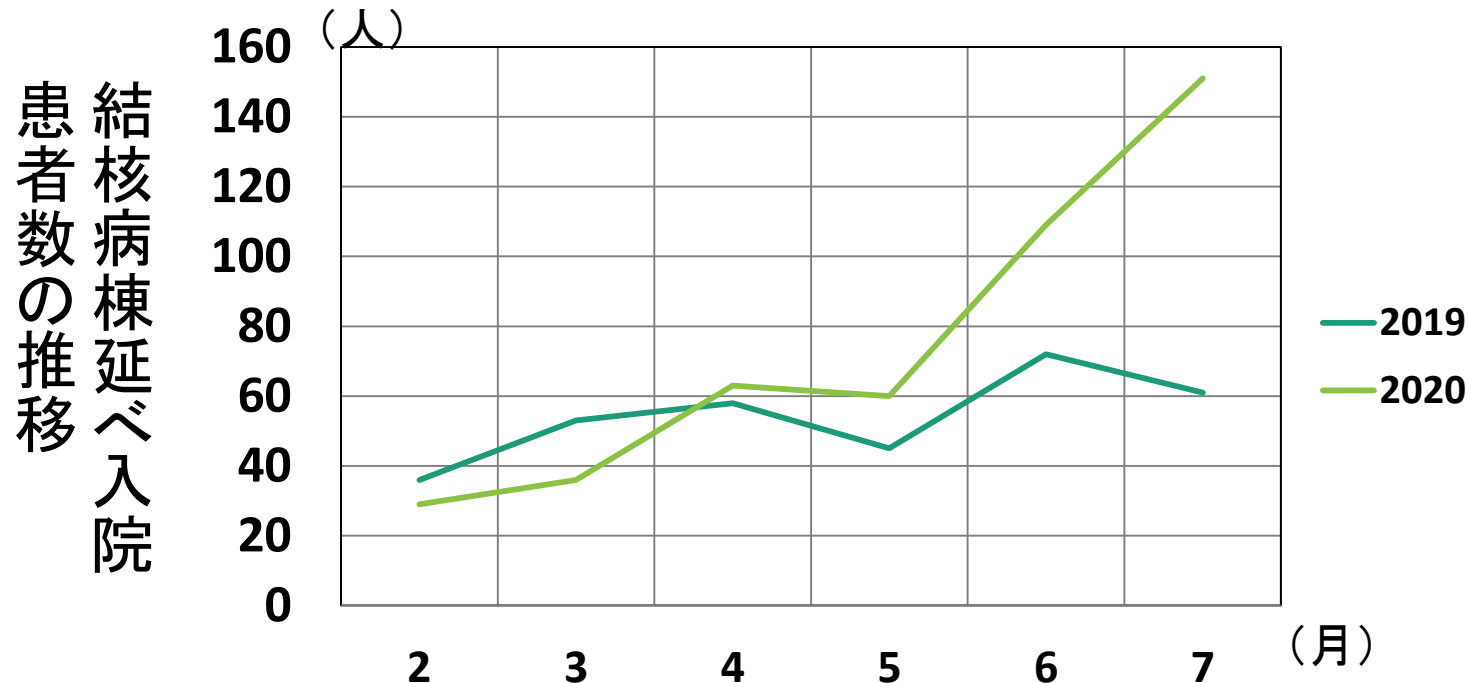
- 2月下旬より10数名のCOVID-19患者を受け入れている
- 圏域外からの患者が多くあった





# 結核病棟

- **24床**（呼吸器内科病棟に併設）
- 感染症病床確保のため、道内の結核病床は半減し、道東方面は病床なしの状態、札幌市内も3分の1
- 釧路や札幌、千歳方面からも受け入れている状態



# N95マスクフィットテスト

---

- 年1回のペースで、結核患者に関わる職員を中心に定量的フィットテストを実施している。
- 呼吸器内科医師
- 研修医
- 看護師
- 臨床検査技師
- 放射線技師



# 感染症病棟対応職員

---

- 初めの稼働より、結核病棟看護師が感染症病棟を担当  
→ **N95マスクのフィットテスト済み、着脱に慣れている**



- 重症患者→ICU看護師、ME、麻酔科医師など
- 患者数が増えることを予想し、1病棟を閉鎖。結核病棟看護師の精神的負担を考え、他病棟から対応職員を捻出した。  
→ **フィットテストを実施していない職員も多く担当することになった**

# COVID-19において、N95マスクの使用が推奨される場面

---

- 一時的に大量のエアロゾルが発生しやすい状況においては、サージカルマスクの代わりにN95マスクを追加
- **エアロゾルが発生しやすい状況**  
気管挿管・抜管, 気道吸引, NPPV装着, 気管切開術, 心肺蘇生, 用手換気, 気管支鏡検査、ネブライザー療法、誘発採痰など



# しかし、COVID-19に関わる全ての場面でN95マスクを装着したい

- 感染症病棟への全ての入室時  
(バイタル測定、配膳、ラウンド等)
- 疑似症患者（発熱患者）の対応
- PCR検体採取時



2月下旬の初動時は、特に使用制限せず入室の度に新しいものに交換してN95マスクを使用することにした



# N95マスクの枯渇

- 徐々にN95マスクの納品が難しくなり、他メーカーの購入や数種類の支援物資の使用を余儀なくされた。
- また、2009年に購入したフルPPEセットに入っていたN95マスクはゴムが切れるなどの劣化が生じていた。



## <使用期限の変更>

結核病棟：7日に1個

感染症病棟：ガイドラインに準じた  
使用を周知



# スタッフから多くの不満の声が聞かれた

---

- 使いまわしで職員の安全が守られるのか？
- 小さい子供がいる、持病のある親と同居している
- 勤務後、家に帰って大丈夫なのか？
- フィットしていない気がする。何となく不安
- 新型のウイルス。サージカルマスクでは不安
- テレビでは、フルPPEで対応している

# 精神的な負担を軽減するためには N95マスクの着用が必須

- ガイドラインは通用しない。現場は納得しない。
- 職員の精神的な負担（心の健康）を考えると、COVID-19に関する場合はN95マスクを着用した方がよいのか・・・
- 入院が増えてくると在庫状況も心配。



- **感染症病棟でN95マスクを使用する場合は、1日1個の目安で繰り返し使う（紙袋での保管）**

# 着けているだけで安心してしている職員も多い

---

- 適切な着脱ができるのか疑問、ユーザーシールチェックは？
- 基本的な手指衛生もおろそか
- 会話中にズレるという声もきかれる、どうしても長時間の装着となる
  
- **適切な着用をしていないスタッフもみられた**
  - 上下逆さま（カップのもの）
  - 途中でゴムが切れる（支援物資）
  - ゴムの位置が不適切
  - サージカルマスクの上から装着
  - 管理方法が不適切（ビニール袋への保管）



# 今後の課題

---

- ①**職員の教育の継続→現場の職員から職員への適切な伝達を目指す**
  - ・ N95マスクとは、着用の目的、装着手順
  - ・ 確実なユーザーシールチェックの実施
  - ・ 定量的フィットテストの実施
- ②**在庫状況を考慮した管理方法の再検討（滅菌の実施など）**
- ③**職員の精神的ストレスの軽減**
  - ・ 軽症例であってもCOVID-19患者と関わることは相当なストレスや不安が続く
  - ・ 心のケア